

第3回 小樽商科大学 役員会 議事要旨

日 時：平成19年11月8日（木）15：25～15：50

場 所：学長室

出席者：学 長，山本理事，和田理事，中村理事

陪 席：池田監事，奥田副学長，事務局長

審議に先立ち，学長より，議題2として「国立大学法人小樽商科大学における余裕金の運用に関する取扱要項の改正について」，議題3として「就業規則等の一部改正について」を追加する旨発言があり，併せて第2回（9月25日（火））開催の役員会の議事要旨の確認を行った。

議題1 平成19年度補正予算(案)について

(審議資料2-1, 2-2, 2-3)

学長より，本件については，平成19年度の小樽商科大学予算において，学長策定による予算編成方針に基づき予算案を作成し，平成19年3月16日開催の役員会及び経営協議会の議を経て，決定した旨発言があった。

併せてその後，平成19年度中において喫緊に対応せざるをえない事業や人事院勧告等による人件費の増など，当初予算では見込み難い事由の発生したことにより，本学の規程に基づき，このたび補正予算（案）を編成した旨説明があった。

続いて，審議資料2-1，2-2，2-3に基づき，財務課長より説明後，審議に移り，審議の結果，承認された。

承認後，学長より，本件については，直近の学部・大学院合同教授会に報告する旨説明があった。

【追加議題】

議題2 国立大学法人小樽商科大学における余裕金の運用に関する取扱要項の改正について

(審議資料3)

学長より，本件については，現在まで本要項に従って余裕金に関する運用しているところである旨発言があり，今回，政府の方針を確認したところ，運営費交付金の運用が可能となったため，本要項の改正を行う旨説明があった。

続いて，審議資料3に基づき，財務課長より説明後，審議に移り，審議の結果，承認された。

【追加議題】

議題3 就業規則等の一部改正について

(審議資料4-1, 4-2)

学長より、本件については、病気を事由とする本学の休暇制度と休職制度に関して審議願う旨発言があり、提案内容について、事務局長から以下のとおり説明があった。

続いて、詳細について、審議資料4-1, 4-2に基づき、総務課長より説明後、審議に移り、審議の結果、承認された。

承認後、学長より、本件については改正の趣旨、概要である。後日、他の規程改正と併せて、本会議において、あらためて審議する旨発言があった。

なお、90日を越える病気休暇を取得させる場合の判断とその後の取扱いについて質問があり、まず医師の診断によって判断され、その後は、状況に応じた対応となる旨説明があった。

【事務局長：説明要旨】

- ・本年7月末から事務職員を対象に「業務の効率化」「経費の節減」に繋がるアイデア・意見の応募を行い、40件のアイデア・意見等を頂いた。現在、提案の趣旨を踏まえた改善等の方策について各担当課に検討させているところである。
- ・この中に本学の休暇制度と休職制度に関する提案があり、総務課に検討を指示したところ、本日配付した資料のとおり本学の関係規定について改正が必要との判断するに至った。
- ・改正する規程には職員給与規程が含まれるため、本日の経営協議会にて審議した職員の給与支給基準に係る改正と本件を併せて改正することとしたい。

報告事項1 平成18年度に係る業務の実績に関する評価結果について

(報告資料1-1, 報告資料1-2)

学長より、本件については、本年6月18日(月)付けの本会議において、承認を受け、6月末に文部科学省に提出した旨説明があり、その後、ヒアリングや文部科学省の国立大学法人評価委員会総会の審議を経て、去る10月5日(金)に報告資料1-1のとおり公表された旨報告があった。

なお、国立大学法人評価委員会総会の審議に先立ち、評価結果(原案)について、意見照会があり、本学としては、報告資料1-2のとおり、申立てを行い、結果は、本学の申立てが認められないものの、本学の「申立内容」については、「申立てへの対応」とともに、文部科学省から公表される予定である旨併せて説明があった。

報告事項2 平成19年度予備費の執行について

(資料なし)

学長より、本件については、平成19年度予算編成において、不測の事態に備えるための全学的な費用として、予備費を1千万円計上して旨発言があった。

次いで、先般、事務棟全体が断続的に情報ネットワークシステムが不通になるという事態に陥り、復旧を試みた結果、装置の交換が最善の処置と判断し、装置の交換を予備費より執行した旨報告があった。

(参考)

執行内容：事務棟グループスイッチの交換

執行額：210万円（予備費残790万円）

復旧日時：9月12日午後

なお、学長より、次回の拡大5者懇談会については、11月26日（月）開催する予定である旨発言があった。

以 上